小笠原村立小笠原中学校

学校だより

令和３年７月１日 第４号
小笠原村立小笠原中学校
校　長　小野満　賢

学校ホームページ
http://www.ogachu.que.ne.jp/

学校フェイスブック
https://www.facebook.com/ogasawara.jhs

可愛い子には旅を・・・

校長　小野満　賢

台風５号の接近のため、６月２５日のおがさわら丸は「着発」になりました。その村内放送は２４日の定期考査２日目の真っ最中に流れ、週明け２８日の遠征出発に向けて準備を進めていた多くが、バタバタと対応に追われました。内心はどうなるのか心配だったのかもしれませんが、生徒たちは皆、動揺することなくしっかりとテストに臨んでいたのが印象的でした。

昨年は、近海を通る台風がゼロだったにもかかわらず、今年はなぜこのタイミングで、と嘆きたくなるところですが、自然の摂理にあらがうことはできません。オリンピック・パラリンピック開催の関係で、学期中のこの時期の長期間の出島、しかも新型コロナウイルス感染症のこともあり、前例のない特殊なかたちでの遠征は、関係の保護者の皆さまに多大な負担と心配をおかけしたに違いありません。学校としても様々なリスクをなるべく小さくする努力をして参りましたが、決してゼロにはなりません。ご家庭としての判断も迷うところはあったと思いますが、ご理解をいただき、最終的に母島中学校の生徒も含め全員で出発できたことを嬉しく思っています。

学校としては、大会が中止とならない限り、何とか参加させてやりたいという思いが強くありました。都内には８００を超える国公私立の中学校があります。もちろんほんの一部との交流になりますが、同じ志をもつ他校の中学生と練習や試合などをすることで、自分たちの力がどの程度のものか分かるだけでなく、実際にその目で見て体験することを通して、多くの発見があり、大きな刺激を受けるはずです。島の中ではできない、リモートでは決して味わえない、何にも代え難い貴重な機会です。そしてまた、決して本校だけのことではないのですが、昨年の、大会に向けて本当によく頑張ってきた生徒たちが「都大会中止」の報を聞いて見せた落胆の表情が頭から離れなかったことも、「今年こそは何とか」という思いを後押ししていました。

過去にさかのぼってみると、離島小笠原の中学生はどんなに部活動を頑張っても、一部の個人種目以外は、島を出て公式の中学生の大会に出ることはできませんでした。しかし、多くの方々の長年の働きかけにより、島嶼大会や、それを勝ち抜いた場合に都大会へ出場できる道筋が少しずつ整い、平成１０年のサッカー部の初出場に続き、平成１８年からバレーボール部、平成２８年からバドミントン部が出場できるようになり、つい最近のテニス部、野球部に拡がってきたという経緯があります。往復の船代を公費で負担していただき、遠征に行けるのは決して当たり前のことではないのです。

期末考査が終わった２５日の昼、前庭に全員を集め「出発式」を行いました。

たくさんの方が苦労して小笠原の中学生の内地遠征ができるようになったこと、小笠原よりも厳しい制限の中、内地の中学生が都大会を目指してどれだけ頑張っているかということ、今回の遠征を行うまでに多くの方々のお世話になっているということを伝えました。そしてどこに行っても、いつもこの島でやっているように、挨拶や返事、感謝の気持ちを言葉で伝えることを忘れずに、このチャンスを活かし、多くのことを吸収して帰ってくること、留守を預かる仲間や後輩たちにたくさんのお土産話を届けることを約束しました。出発に向けての二人の部長の挨拶にも力強さを感じました。

２年ぶりとなる港での見送りに、多くの保護者、地域の方がいらっしゃいました。同級生も後輩たちも、昨年思いを果たせなかった先輩たちも駆けつけ、声を掛けられ、餞別やレイを渡されている生徒たちを見て、小笠原の皆さんの温かさと、子どもたちが地域に愛されていることを改めて感じました。

小笠原のいつもの初夏の風景がまたひとつ戻ってきました。「こんなに長い間、子どもが家を空けるな

んて初めてです。」「ご飯の作りがいがないです。」とおっしゃる保護者の方がいました。離岸する船で「行ってきます」と手を振る生徒たちの表情に確かな成長を感じるとともに、「行ってらっしゃい」と声を掛ける親御さんの横顔に一抹どころではない寂しさを感じました。

７月にはサッカー部、８月にはテニス部が続きます。

第3学年　小笠原高校訪問

第３学年担当　高橋　郁美

５月１４日（金）午後から都立小笠原高等学校に訪問させていただきました。新型コロナウイルス感染症の影響により緊急事態宣言が出されており様々な面で大変なときでしたが、快く小笠原中学３年生を迎えてくださいました。

上級学校訪問では、総合的な学習の時間のキャリア教育の一環として、自分の進路を考えるにあたり、上級学校とはどんなところなのかを知ることが目的の１つです。事前学習で小笠原高等学校について調べ学習を行い、その後高校生と高校の先生への質問を考えました。

当日は、小笠原高等学校進路担当の新行内先生から小笠原高等学校だけでなく、都立高校全般についても詳しくご説明をいただき、有意義な時間を過ごすことができました。生徒たちは真剣な表情でお話を聞き、質問も積極的にしていました。質問に対する答えも丁寧にしていただきました。また、高校生の授業見学ができたことで、自分が高校生になったらこんな風にしたいな、こうなりたいな、というイメージができたようでした。

この体験をきっかけに、今後の進路選択をしっかりと考えてほしいと思います。

第2学年　旧島民の方のお話を聞く会

第２学年担当　野田　さくら

２年生では現在、総合的な学習の時間において、「硫黄島訪島事業」に向けた学習を行っています。６月１７日（木）には硫黄島について理解をより深めるために、講師に旧島民の会の副会長でいらっしゃる楠　明博さんを本校にお招きし、ご講演いただきました。

硫黄島の旧島民であるお母様への思いや、これまで取り組んでこられた硫黄島での遺骨収集の様子などについて、実際に撮られた写真を基にお話ししてくださる中、生徒たちはたくさんメモを取りながら熱心にそれを聞き、活発に質問を寄せていました。「今も硫黄島に眠る、英霊さんたちを助け出してあげたい」という楠さんの思いを、真剣な眼差しで聞いていた生徒の表情が印象的でした。

第1学年　東平外来種駆除活動

第１学年担当　麻生　直人

毎年１年生の２学期に行われている「東平外来種駆除活動」を、林野庁の方々の指導の下、今年度は６月１０日に学校にて事前学習を行い、翌１１日に「アカガシラカラスバトサンクチュアリー」にて駆除活動を実際に行いました。

事前学習では、固有種の由来や特徴、外来種が持ち込まれた経緯や在来種への影響、アカガシラカラスバトサンクチュアリーの役割についてお話を聞きました。

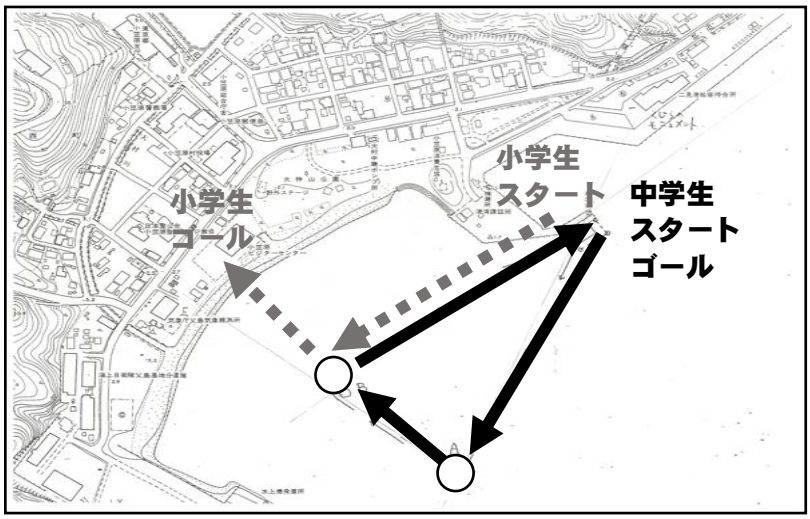
駆除活動では、アカギ、モクマオウ、キバンジロウ、ホナガソウ、ギンネムの駆除をしました。アカギやモクマオウは太い物では直径１５ｃｍを超えるような太さの木をのこぎりで切り倒しました。「メキメキッ！！」と音を立てて倒すと、周りから歓声が聞こえ、汗をかき、楽しみながらおよそ１時間にわたって駆除行いました。

ここ数年の駆除活動では、ここまで大きな木の駆除をさせてもらったのは初めてでした。それはきっとこれまでの活動の中で、小笠原中学校の生徒が安全に注意して真剣に取り組んできたことにより、期待と信頼を得ることができたからだと感じます。来年、再来年とこの活動が生徒や地域にとって有意義で有り続けるように、何事にも一生懸命取り組む中学生であるよう期待しています。

遠泳大会

当日の予定

９：００	生徒集合（青灯台）
９：１０	開会式
９：４０	中学生 スタート
１０：００	小学生 スタート
１０：４０	中学校 終了
１０：５０	閉会式



７月２日（金）に遠泳大会を開催いたします。中学生は、青灯台から黒岩周辺に設置したブイを周回して青灯台に戻る約１ｋｍのコースで行います。大会当日は、生徒へのご声援をよろしくお願いいたします。また、併せて大会当日に向けてのご家庭での健康管理もどうぞよろしくお願いいたします。

今年度も、小笠原支庁、小笠原島漁業協同組合、海上自衛隊父島基地分遣隊、警視庁小笠原警察署、海上保安庁小笠原海上保安署、小笠原海運父島営業所、小笠原村観光協会、小笠原村診療所、小笠原スクーバダイビング安全対策協議会、小笠原小中学校ＰＴＡをはじめとする多くの皆様のご支援とご協力をいただき、遠泳大会を開催できる運びとなりました。誠にありがとうございます。当日もどうぞよろしくお願いいたします。

バレーボール部遠征

バレーボール部顧問　小林　政輝　髙部　みなみ

バレーボール部は、７月３日（土）に港区立港南中学校で開催される島嶼大会に向けて練習に励んできました。『島嶼大会優勝』を目指し、「ボールを落とさないこと」、「声を出すこと」、「仲間を信じること」を具体的に目標として立てて練習をしてきました。

昨年度は島嶼大会がなくなり、悔しい思いをしたバレーボール部でしたが、今年は大会が開催されることに大きな喜びと感謝を感じるとともに、『島嶼大会優勝』という具体的な目標に向けて、一人一人が一生懸命に練習に励みました。

「練習でできなければ本番でも絶対にできない。だから今の練習を全力でやろう。」これはキャプテンの工藤さんが練習終わりのミーティングで言った言葉です。この言葉どおり、やってきたことを丁寧に全力で出しきってほしいと思います。

日々の練習でご協力していただいた地域の皆さん、高校生の皆さん、昨年度の強化練習でお世話になった三枝監督、横野さん、そして、最後まで大きな声援を送り続けていただいた保護者の皆さんに感謝申し上げます。皆様の期待に応えられるような試合にできるよう精一杯頑張りたいと思います。

バドミントン部遠征

バドミントン部顧問　野内　由紀子　佐々木　若葉

バドミントン部は、７月３日（土）に葛飾区水元スポーツセンターで開催される都大会出場のため、出港から帰着するまで約２週間の長期遠征を実施します。期間中、都内４箇所の中学校に合同練習をお願いし、計５日間の練習を快く引き受けていただきました。この遠征は、普段同年代と対戦する機会が少ない離島の中学生にとって、他の中学生と対戦する貴重な機会でもあり、驚くほどの変化と成長を遂げるチャンスにもなります。今回この大会練習のために、卒業生も後輩の指導に駆けつけてくれました。一昨年まで遠征を経験し、昨年大会が中止になりながらも今年後輩のために母校へ通ってくれた高校生たち。日頃からお世話になっているコーチの方の丁寧なご指導。こうした島の皆さんの温かい応援が現役生の支えになりました。まだ安心して屋内競技ができない中、心配も尽きない中でこの大会への道を作り、つなげてくださった関係の皆様に感謝申し上げます。送り出してくださる保護者の皆様と、地域の皆様の思いに応えられるような試合ができればと思います。

7月･8月の行事予定

7月

１日（木）食育講話 安全指導 自転車安全点検
　　ＳＣ勤務　各種委員会・中央委員会
２日（金）遠泳大会
３日（土）バレーボール部島しょ大会
　　バドミントン部都大会
４日（日）バレーボール部都大会
５日（月）生徒会朝礼
６日（火）避難訓練　三者面談始
７日（水）芝生の日　人権講話
８日（木）第１回進路説明会 15:00～
　　母島移動教室保護者説明会 16:00～
１２日（月）租税教室（３年）
１３日（火）お弁当の日
１４日（水）セーフティ教室 ＳＣ勤務 校内研修
１５日（木）全体学活リハーサル　ＳＣ勤務
１６日（金）大掃除　全体学活　終業式
　　東京 2020 オリンピック聖火リレー
１７日（土）夏季休業日始
２２日（木）海の日　サッカー部島しょ大会
２３日（金）スポーツの日　サッカー部都大会

8月

８日（日）山の日
９日（月）振替休日
１０日（火）～１３日（金）学校閉庁日
２１日（土）テニス部大会（予定）
２５日（水）夏季休業日終　校内研修
２６日（木）始業式　発育測定　自転車安全点検
　　ＳＣ勤務
２８日（土）海洋センターボランティア
３０日（月）学校朝礼　校内研修
３１日（火）母島移動教室始（１年）
　　９月２日（木）まで